

## 続発性水頭症の患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度、三重県立総合医療センター脳神経外科では、「脳室腹腔シャント術後の近位カテーテル逸脱に関する後ろ向き研究」を実施することになりました。

この研究の目的は、脳室腹腔シャント術を施行した続発性水頭症の患者さんの術後カテーテル逸脱の要因を調べることです。

この研究のため、西暦2017年1月1日から西暦2019年3月31日までに、当院で診療させていただいた方の調査を行います。対象となるのは続発性水頭症の患者さんで、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（合併症の有無、治療経過等）のみです。患者様のお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査した情報は本研究責任者の下で厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

この研究に必要な資金はありません。研究を実施するにあたり、研究者が公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けていることはありません。

また、ご自身の情報を研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この研究に関する資料をご覧になりたい場合、またはご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

西暦2019年8月13日

三重県立総合医療センター脳神経外科

研究責任者：亀井 裕介

連絡先：059-345-2321(代表)